

46歳、4児の子育てをしながら父親です。常日頃、子ども達には目に見えないものだけに知られず、目には見えないものも感じず、未来へ、たくましく歩んでほしいと考えています。

先日、杉原千叟・幸子夫妻の碑前祭が港口公園で開催され、家族で参加させて頂きました。前日に準備をしている際、翻訳のために事前にスピーチ原稿を「ご覧になっていた顕彰会代表の長興寺・松下宗柏住職が」さすがイスラエル大使。立派な文章だったよと話をされたので、子ども達にも聞かせたいと思い、連れて行きまわした。

イスラエル大使のスピーチは本当に素晴らしい力があって、身振り、手振りを交え、熱のこもったスピーチは、英語ながらも心に感じるものがありました。

「あの国民の特性は、その国民に習熟することによってのみ学ぶことができる。国語はその国の魂に内在するすべてを含んでおり、それ故にそれぞれの国にとって最上の投影法なのである」「精神科医の土居健郎は著書で述べていて、私もその通りだと感じています。

「日本語について自分なりに研究して行く中で気になるのは日本人の否定表現の多さです。肯定的な内容をすらすら、二重否定を使います。私自身そうです、日本人の特性だと思います。動画投稿サイトのユーチューブに字幕機能があり、機能を使って討論番組を見たら、それが頭著です。建設的な話なのに否定表現で溢れていて、感覚的に不安に感じます。」

「その時に楽しかった」と、齋藤さん。また、曝下機能がある」と、曝下機能がよいの話を聞いて、

「大半の地球人は、西洋的価値観に洗脳されて、時間経過から未来に流れているかと思いついて、自分は未来をどうやって生きていくか、という問いが、まるで重要だと思っています。」

「向かってボールを投げれば、ボールが目の前に来た時にキックすることができ。『時間は未来から過去に向かって流れている』というので、そ

「吉本は皆さんの素晴らしい文章に読者の心を打たれておこがましいのですが、過去をどのように捉えるべきかと想像すると、未来に向かって投げるボールのベクトルだと感じています。」

言葉のベクトル

飯田理一朗

「ある国の国民は、その国民に習熟することによってのみ学ぶことができる。国語はその国の魂に内在するすべてを含んでおり、それ故にそれぞれの国にとって最上の投影法なのである」「精神科医の土居健郎は著書で述べていて、私もその通りだと感じています。」

「日本語について自分なりに研究して行く中で気になるのは日本人の否定表現の多さです。肯定的な内容をすらすら、二重否定を使います。私自身そうです、日本人の特性だと思います。動画投稿サイトのユーチューブに字幕機能があり、機能を使って討論番組を見たら、それが頭著です。建設的な話なのに否定表現で溢れていて、感覚的に不安に感じます。」

「向かってボールを投げれば、ボールが目の前に来た時にキックすることができ。『時間は未来から過去に向かって流れている』というので、その

「吉本は皆さんの素晴らしい文章に読者の心を打たれておこがましいのですが、過去をどのように捉えるべきかと想像すると、未来に向かって投げるボールのベクトルだと感じています。」

な事象をつかんでほしいと考えられています。17日(木)から21日(月)まで沼津駅北口、キラメッセぬまづで階市民ギャラリー2でイスラエル・ホロコースト歴史博物館制作パネル展「空のない星」ホロコーストの子供たち」が開催されます。また、20には(日)大会議室で、俳優の山田純大さんを講師にお招きして「命のビザ講演会」が開催されます(連絡先・電話966-0112、5、長興寺)。



「子ども達の頃は、誰かがそつうう気持ちで生きていた。過去」

訂正 9日付2面「中学軟式野球クラブチーム」の記事で、代表の内村義則さんを「元中学校の教諭」としました(金岡中の教諭)の誤りでした。

(原町中)